

<b>10002 キリスト教概論Ⅱ a、b</b> Introduction to Christianity II		3年次～ a：前、b：後 2単位	
担当者	佐々木 徹	履修可能学科	E必 Pe必 Pc必 C必 W F N
		関連資格	保育（Pc）
サブタイトル	キリスト教と文化および他の宗教		
授業内容 ・ ねらい	聖書の教え、あるいは福音は、その歴史的展開において、もともとはキリスト教と異なる文化的、宗教的伝統を培ってきた土壌に種まかれ、そこで根を張り、育つことによってキリスト教の伝統を形成してゆくこととなります。それは、出会いと寛容の歴史であり、あるいは対決の歴史でもあります。このことはヨーロッパにおいても同様であり、講義ではおもにヨーロッパの事例を参考にしながら、キリスト教と文化の関連について考察してゆきます。又、このようにキリスト教と文化の問題について考察することは、私たち日本に住む者にとっても興味深い問題提起をすることになるでしょう。なぜなら、キリスト教がいかにして日本の文化、日本人の生活に根付くのかということを考えることによって、キリスト教との対比における日本文化や日本人の宗教性の特徴が明確になる場合もあるからです。		
授業計画	以下の項目順に講義します。（ ）内は割り当てられる授業回数の予定を示します。 A. はじめに・・・宗教と文化（3回） 人間の根源的問いとしての文化とキリスト教の答え B. ヨーロッパにおけるキリスト教と伝統思想 1. 殉教者ユスティノスの人生と哲学（1回） 2. アウグスティヌスの人生と新プラトン主義の哲学（4回） 3. トマス・アキナスの人生とアリストテレスの哲学（2回） C. ヨーロッパのキリスト教が抱える問題 1. キリスト教と近代（1回） 2. 真の信仰とは何か・・・キルケゴールの問題提起（1回） D. キリスト教と芸術（1回） 1. カール・バルトとモーツァルト 2. マティアス・グリュエネヴァルトの絵画 3. ジョルジュ・ルオーの絵画 E. キリスト教と日本の文化、宗教 1. キリスト教と仏教≪浄土宗、浄土真宗など≫（1回） 2. キリスト教信仰と日本人の宗教性（1回）		
教科書 参考書	参『聖書』（新共同訳が望ましい。）その他の参考書については、講義時に述べます。 随時、プリントを配ります。		
評価方法	試験もしくはレポート 出席も重視		
事前準備学習 履修条件等	マナーを守って、誠実に取り組むこと。		